

1,2-β-オリゴマンナンホスホリラーゼ

Cat. No. EXWM-2579

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 この酵素は、熱好性嫌気性細菌 *Thermoanaerobacter* sp. X514 から最初に特徴付けられ、可逆反応を触媒します。合成方向では、重合度 (DP) が 3、4、5 のオリゴ糖を生成します。リン酸加水分解反応は完全に進行しますが、基質に少なくとも 3 つの残基があるときに活性が最も高くなります。参照: EC 2.4.1.339、β-1,2-マンノピオースリン酸化酵素。

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC 番号 EC 2.4.1.340

反応 $[(1\rightarrow2)\text{-}\beta\text{-D-mannosyl}]_n + \text{リン酸} = [(1\rightarrow2)\text{-}\beta\text{-D-mannosyl}]_{n-1} + \alpha\text{-D-マンノース 1-リン酸}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは 5~9 週間です。お客様の仕様に合わせてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。